

SDGs 関連の意匠登録事例

—食卓周りでの脱プラを目指して—



2022年12月6日

作成者：大阪法務戦略部 弁理士 黒河 志実

0. はじめに

地球規模での資源・廃棄物制約や海洋プラスチックごみ問題への対応が求められている中で、世界全体の取組として、プラスチック資源循環体制を構築するとともに、海洋プラスチックごみによる汚染防止を進めることが必要となっています。

このような問題に対処するため、日本では2019年5月に「プラスチック資源循環戦略」を政府にて策定し、同年6月のG20大阪サミットにて2050年までに海洋汚染ゼロを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」がグローバルビジョンとして共有されました。また、2022年4月1日に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（通称：プラ新法）が施行され、脱プラスチック（脱プラ）のための変化を身近なところで目にする機会が増えてきました。

例えば、コンビニエンスストアでは、プラスチックの使用量を減らすために持ち手に穴の開いたスプーン・フォークであったり、木製のスプーン、生分解性プラスチック製フォークであったりなどの導入を進めています。某ファストフード店やコーヒーチェーン店では、プラスチック製ストローに替え、紙製ストローを利用客へ渡すようになりました。このように我々の食卓周りの身近な物品についても、プラスチックからバイオプラスチック・生分解性プラスチック、紙素材や天然素材、再生プラスチック等への転換が起っています。

これらの取組みは、SDGs（持続可能な開発目標）に通ずるところであり、SDGs達成への努力が企業価値と結びついている昨今、知財面からもSDGsへの貢献をアピールすることが重要となっています。ここでは食卓周りの身近な物品を中心に、環境保全・脱プラスチック・SDGs達成を目指し、それらを願書に明記している登録意匠を紹介いたします。

【全11頁】

本内容についてご不明点・ご質問等がございましたら、下記の担当者まで遠慮なくお問い合わせ下さい。

【連絡先】

特許業務法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK

- ・ 大阪法務戦略部長 : 八谷 晃典 TEL (大阪) : 0 6 - 6 3 5 1 - 4 3 8 4 (代表)
- ・ 東京法務戦略部長 : 石黒 智晴 TEL (東京) : 0 3 - 3 4 3 3 - 5 8 1 0 (代表)
- ・ 名古屋法務戦略室長 : 山下 広大 TEL (名古屋) : 0 5 2 - 5 8 9 - 2 5 8 1 (代表)
- ・ 広島法務戦略室長 : 北岡 瞬 TEL (広島) : 0 8 2 - 5 4 5 - 3 6 8 0 (代表)
- ・ E-Mail : ipkenzo@harakenzo.com

【免責事項】

- ・ 当事務所は、本資料のコンテンツの正確性に努めておりますが、これを保証するものではありません。
- ・ 当事務所は、本資料のご利用により生じた損害・損失について、一切の法的責任を負いません。

【無断複製・転載禁止】

本資料は著作権法で保護されています。無断複製や転載は固くお断りいたします。

特許業務法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK, All rights reserved.

【弊所のウェブサイト・facebook・Twitter】

弊所のウェブサイト・facebook・Twitter も、国内外の知的財産に係る有用な情報を随時情報発信しております。是非ご参照下さい。

- ・ <弊所総合ウェブサイト> : <http://www.harakenzo.com>
- ・ <商標専門サイト> : <http://trademark.ip-kenzo.com>
- ・ <意匠専門サイト> : <http://design.ip-kenzo.com>
- ・ <公式 facebook> : <https://www.facebook.com/HARAKENZO.Main>
- ・ <公式 Twitter> : <https://twitter.com/HarakenzoT>

※facebook につきましては、ユーザ名「Harakenzo」で検索頂ければアクセス容易です。

